

自立を支える公教育による学びのセーフティネット ~新しい時代の新しい夜間中学~

【学校内の要素】

- ・日本語を課題とする生徒
- ・不登校を経験した生徒
- ・特別の教育課程(社会経験のある生徒、課程の修了や卒業を認めるに必要な内容)

【学校評価での課題(4点)】

他の生徒のことを理解している。3.16点
 他の生徒と上手く接している。3.58点

【学校外の要素】

- ・市内中学校長期欠席生徒 575人
(18.6人に1人:「令和2年松戸の教育」より)
- ・市内生活困難層 25.1%
(H29年市立中学2年生市実態調査より)
- ・市内外国人居住者の増加
(H24年度 10,642人→R2年度 17,183人
(約3.4%)松戸市統計書より)

目指す方向

生徒が満足できる授業と教育活動

【授業】

- ①生徒が満足する授業
(興味を引く教材・難易度設定)
- ②「分かりやすい日本語」での説明
- ③TT補助を活用する授業
- ④日本語指導(教材・指導体制)の充実
- ⑤ユニバーサルデザイン(UD文字、ふりがな、見やすいパワポ)の配慮
- ⑥肯定感を高める評価(確認テスト・通知票)

【心のケア】

- ①生徒に寄り添う職員集団
(担任団制度・技能授業・行事)
- ②スクールカウンセラー・養護教諭による生徒支援の充実
- ③生徒同士の人間関係作りの支援
- ④生徒情報の職員間での共有
- ⑤教育相談(毎学期・全職員)の工夫

【健康】

- ①望ましい生活リズムの指導
- ②心理的不安感への支援
- ③感染症対策の徹底と継続
- ④感染症対策と学校行事の調整
- ⑤適切な健康情報の提供

校内で支援を閉じず、つなぐ機能
 養護教諭 SC 県SSWer

松戸市生活支援一課、二課 子ども家庭相談課 中核地域支援センターほっとねっと

中央基幹相談支援センターCoCo 民生児童委員 旧古ヶ崎南小 SSWer

校外の機関